

令和3年9月4日(土)

# 須坂新聞にのりました!

## 自立は家庭から始まる

山びこ幼稚園でモンテッソーリ教育学ぶ

学校法人曾沢学園  
(須坂市南原町、金井  
崇晃理事長)が運営す  
る「山びこ幼稚園」は  
このほど、国際モンテ  
ッソーリ協会公認講師  
の深津高子さんを招い  
て、講演会「家庭から  
始まるモンテッソーリ  
教育 自立の3種類」  
を同園で開いた。保護  
者ら約20人が聴講した  
。写真。

深津さんは「自立は  
人間の生きる基盤であ  
り、身体的、精神的、  
知的の3種類がある。  
一番の土台は日常的生  
活を自分で行う身体的  
自立。それは家庭から  
始まる」と話した。

### 講演要旨

イタリアの教育者マ

リア・モンテッソーリ  
が考案したモンテッソ  
ーリ教育の目的の一つ  
は人間の自立。自立は  
人間が生きていく上で  
不可欠な資質。自立に  
は身体的、精神的、知  
的の3種類がある。

身体的自立はトイ  
レ、食事、服の着脱な  
ど、自分で自分の世話  
ができること。  
精神的自立は一人で  
遊び、昼寝できる。泣  
かないで登園できる。  
知的自立は自分で考  
えて決められる。選べ  
る。身体的自立の土台  
の上に、精神的・知的  
自立がある。

自立は家庭から始ま  
る。今の親は世話をし  
すぎる。何でもやる親  
は良くない。4歳児に  
子どもは手、腕、足  
など使いたいと思っ  
ている。走り回ったり、  
いろいろな物に触った

て、注意する前にまず  
観察をしてほしい。  
「褒めて育てろ」と  
よく言われるが、何で  
も褒めればいいのでは  
ない。大きさに褒めて  
悪影響となることもあ  
るので、努力したこ  
となどを選んで褒めた  
い。褒めるより認める  
ことが大切。親自身が

認める言葉のレパート  
ーを増やそう。  
知的自立には五感を  
使った原体験が肝心。  
いろいろな原体験が思  
考の土台になる。自然  
を見て触れて感じて、  
そのとき受けた経験が  
思考の土台になる。パ  
ーチャル体験では土台  
にならない。  
絵本選びにもポイン  
トがある。子どもは現  
実の世界(自然)を知  
りたい。ファンタジー  
もいいが、例えば可愛  
いクマさんが日本語を  
話す物語よりは、リア  
ルに近いクマを描いた  
物語。五感に訴える現  
実に沿った絵本が望ま  
しい。

また、日頃から自分  
で選ぶ機会を増やす。  
例えば、外出する際の  
Tシャツを黄色にする  
か水色にするか子ども  
に選ばせる。選ぶまで  
待ち、選択した結果を  
本人に責任をとらせる  
ようにする。  
自立は急にはできな  
い。完全なる依存から  
自立へと、幼い子ども  
時代から少しずつ自分  
で積み重ねていくも  
の。どんなに幼い子ど  
もでも「自分でやりた  
い」と思っている、そ  
れを成し遂げた時の喜  
びは図り知れないも  
の。さまざまな体験を  
通じ、自立の土台を築  
ければ、将来の大きな  
財産となる。



りするのはその  
のため。便利  
さより不便が  
好きなので、  
電気掃除機よ  
り、ほうきや  
ちりとりを与  
えるといい。  
家庭では、  
子どもが体を  
使う機会を奪  
ってしまいが  
ち。子どもは  
何でも疑問に  
感じる科学者  
である。その  
ことを理解し  
て、注意する前にまず  
観察をしてほしい。  
「褒めて育てろ」と  
よく言われるが、何で  
も褒めればいいのでは  
ない。大きさに褒めて  
悪影響となることもあ  
るので、努力したこ  
となどを選んで褒めた  
い。褒めるより認める  
ことが大切。親自身が